

2020年4月21日
日本銀行大分支店



大分県内の景気動向

2020年4月公表分

本資料は当店ホームページにも掲載しています。
<http://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

総務課 (TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

E-Mail : ooita@boj.or.jp

(総論)

大分県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。この間、観光は、悪化している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、底堅く推移している。

鉱工業生産は、減少している。

雇用・所得面をみると、労働需給は引き締まった状況が続いている。雇用者所得は、このところ横ばい圏内の動きとなっている。

金融面では、預金・貸出金ともに増加している。この間、銀行の貸出約定平均金利は低下傾向にある。

先行きについては、①新型コロナウイルス感染症の拡大による影響、②海外の政治経済情勢に関する不確実性や地政学的リスクが県内経済に直接・間接的に及ぼす影響、③企業部門の収益動向と経営行動の変化などに注視していく必要がある。

＜景気動向の総括表＞

		前月 (2020年3月)	当月 (2020年4月)	景気の方 向感	前月から の変化
総括判断		新型コロナウイルス感染症の影響から、足もと弱めの動きとなっている。	新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。	⇩	引き下げ
需要項目	個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響から、足もと弱めの動きとなっている。	新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。	⇩	引き下げ
	観光	弱い動きとなっている。	悪化している。	⇩	引き下げ
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。	⇒	据え置き
	公共投資	増加している。	増加している。	↗	据え置き
	設備投資	持ち直しつつある。	底堅く推移している。	↗	据え置き
鉱工業生産		弱めの動きとなっている。	減少している。	⇩	引き下げ
雇用・所得	労働需給	引き締まった状況が続いている。	引き締まった状況が続いている。	⇒	据え置き
	雇用者所得	このところ横ばい圏内の動きとなっている。	このところ横ばい圏内の動きとなっている。	⇒	据え置き

1. 個人消費

個人消費	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。</p> <p>—— 飲食料品や日用品などの販売が増加する中、多くの業態で客数が減少している。</p>
観光	<p>悪化している。</p> <p>—— 新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、国内外の旅行客とも著しく減少している。</p>

(参考)

大型小売店等	スーパー等では飲食料品などの販売が増加しているものの、専門店等では客数が一段と減少しており、弱い動きとなっている。	
コンビニエンスストア	冷凍食品やインスタント食品などの販売が増加しているものの、客数が一段と減少しており、弱めの動きとなっている。	
専門量販店	ドラッグストア	新規出店効果のほか、飲食料品や日用品などの販売が好調であり、増加している。
	ホームセンター	飲食料品や日用品などの販売が好調であり、増加している。
	家電大型専門店	空気清浄機や加湿器の販売が好調なものの、客数が減少しており、全体として横ばい圏内で推移している。
乗用車新車販売	新型車投入効果がみられるものの、客数が減少しており、弱めの動きとなっている。	

2. 投資（住宅・公共・設備）

住宅投資	<p>横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>—— 貸家は、弱めの動きとなっている。一方、持家・分譲戸建は、増加している。この間、分譲マンションは、横ばい圏内で推移している。</p>
公共投資	<p>増加している。</p> <p>—— 公共投資は、土木工事などを中心に増加している。</p>
設備投資	<p>底堅く推移している。</p> <p>—— 20/3月短観における20年度設備投資計画をみると、前年度比▲9.8%の減少計画となっている（製造業：同+28.2%、非製造業：同▲59.9%）。前年度比高めの伸び率となった19年度（全産業：同+25.7%）対比では、非製造業での大型投資案件の反動減を主因に減少しているが、製造業は前年を上回る計画となっており、底堅く推移している。</p> <p>—— 20/2月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、前年を下回った。</p>

3. 生産

鋳工業生産

減少している。

- 鋳工業生産は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、需要が減少しているほか、国内外での生産活動の停滞がサプライチェーンに影響しており、減少している。
- 大分税関支署管内の輸出額は、前年を下回って推移している。

4. 雇用・所得

労働需給

引き締まった状況が続いている。

- 有効求人倍率が高水準で推移しているほか、短観の雇用人員判断 D.I.も大幅な「不足」超の状態が続いているなど、全体としてタイトな状況が続いている。

雇用者所得

このところ横ばい圏内の動きとなっている。

- 雇用者所得（1人当たり現金給与総額×常用労働者数）の内訳をみると、1人当たり現金給与総額が前年を上回った。

5. 物価

消費者物価	消費者物価指数（大分市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、0%台半ばとなっている。
-------	--

6. 金融

預金	増加している。 —— 大分県内における実質預金残高（含む譲渡性預金、都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託〈信託勘定を除く〉・信金・信組の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金	増加している。 —— 大分県内における貸出残高（都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託〈信託勘定を除く〉・信金・信組の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金利	低下傾向にある。 —— 大分県内における貸出約定平均金利（総合・ストックベース、都銀・地銀・地銀Ⅱの加重平均）は、低下傾向にある。
企業倒産	低めの水準で推移している。

<当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<http://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html

(支店見学のご案内)

http://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html

＜当店が公表している特別調査レポートの一覧＞

- [県内企業における人材の確保・育成に向けた取り組み](#) (20年2月20日公表)
- [大分県の輸出構造と最近の動き](#) (19年11月1日公表)
- [大分県の企業立地](#) (19年10月25日公表)
- [大分県のインバウンド動向 ―世界的スポーツイベントの開催を前に―](#) (19年7月31日公表)
- [大分県の地価動向](#) (19年6月21日公表)
- [大分県のインターネット消費](#) (19年4月1日公表)
- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#) (18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#) (18年10月25日公表)
- [観光消費の促進に向けた着眼点](#) (18年10月11日公表)
- [成長力強化が期待される大分県の農業](#) (18年6月19日公表)
- [イノベーションを捉え始めた県内製造業](#) (18年4月2日公表)
- [民泊の本格解禁に向けた県内の動き](#) (18年2月21日公表)
- [事業承継は県内企業の飛躍のチャンス](#) (18年1月24日公表)
- [収益力強化に向けた設備投資の一手](#) (17年11月22日公表)
- [平成29年台風第18号による大分県経済への影響と今後の見通し](#) (17年10月18日公表)
- [付加価値拡大に向けた県内企業の取り組み](#) (17年9月14日公表)

以 上